令和5年度　あけぼの支援学校

進路だより　No.2

文責　柳澤

令和５年６月３０日　発行　**あけぼの支援学校進路指導係**

第Ⅰ期現場実習を終えて

校　長　相山　洋幸

高等部生徒のみなさん、２週間の現場実習は大変お疲れ様でした。期間中、数か所の実習先を訪問させていただき、学校とは違った環境、活動に戸惑いながらも前向きに取り組もうとするみなさんの姿を観ることができました。実習先の担当者様からは、学校での活動以上の力を発揮したり、より積極的な姿勢を見せたりしているみなさんの様子をお聞きすることもあり、実習生としての頼もしさを感じつつ、学校としても、みなさんがもっている力を十分発揮できる教育環境づくりが必要であることを再確認する機会となりました。

現場実習は、働く経験や学校や家庭以外の場所で生活する経験を通して、将来の職業生活や社会生活で必要な事柄を学ぶことが目的です。特に、よりよく働いたり生活したりしようとする気持ちや態度を身につけることが重要です。実習先の日課に沿って落ち着いて行動すること、活動に対する姿勢やふさわしい言葉遣い、周囲の方とのコミュニケーション、作業に対する責任感等、学ぶことが多かったと思います。また、実習の経験値によってもそのねらいは変わってきます。まずは経験しチャレンジすること､次にそれを継続すること､そして自分の適性を確かめることといった段階を経た中で、それぞれの将来が考えられていきます。この実習で様々な経験が得られたと思いますが、この時ばかりのものにしないためにも、しっかりと振り返り、次に目指すべき目標を考えていってほしいと思います。現場実習にあたっては、実習先の多くの方々のお世話になりました。是非、この貴重な現場実習の機会に感謝し、今後の学校生活に生かしていってほしいと思います。

進路指導係より

今号では5月２９日（月）～6月９日（金）に行われた令和５年度第Ⅰ期現場実習の様子をお伝えします。生徒本人が実習を振り返り、素晴らしい経験や体験を行うことができました。是非、御一読いただき、実習の様子を少しでも知っていただければと思います。

また、今期の実習におきましては、新型コロナウイルス感染症が５類に移行することで、対応等変化するなかでの実習になりましたが、保護者の皆様、実習受け入れ先の皆様の御協力により、無事に実習を行うことができましたこと、改めてお礼申し上げます。

１１月には、第Ⅱ期現場実習が予定されています。感染症等の対応がどのようになっているか分かりませんが、校外での実習を行う貴重な機会と捉え、安心して実施できるよう取り組んでいきたいと考えます。

第Ⅰ期現場実習の様子

『メディアブレイン物流センター』では、ソフトを使って送り状を作成しました。今までの実習の中で一番難しい内容でしたが、メモを取り、確認して取り組むことができました。『綜合キャリアトラストＳＡＫＵＲＡ』では、箱の中の間仕切りを組み立てる作業や、ＰＣ研修、コミュニケーションについての研修などを行いました。実習を通して、メモを取ることの重要さとコミュニケーションで人間関係を築いていくことが改めて大事だと学びました。また、挨拶、返事を自分で言っているつもりでも、相手に聞こえなかったら意味がないということも学ぶことができました。今後、大きな声であいさつ、返事等していきたいと思います。

『南アルプスかおりの家』に１０日間行きました。調整器を数える作業、スポンジの型抜き、ソース類のフィルム剥がし作業、貼り絵を行いました。実習の初日は、遠慮してしまって自分からコミュニケーションをとることが出来ませんでしたが、２日目からは少しずつ積極的に話しかけられました。そして、作業は、いろいろな利用者さんと協力し、思っていたよりもスムーズにこなせることができました。また、自分の気持ちを相手にはっきり伝えていいことを学びました。今回２週間『かおりの家』に行き、卒業後は、１日作業したいと思いました。そして、何か悩みや困っていることがあれば、自分から積極的に周りの人に相談した方がいいのかなと考えました。

生活介護事業所『ひびき』と障害者デイサービス『ワーカウト羽黒』に行きました。『ひびき』は初めての実習だったため緊張した様子も見られましたが、無事に終了することができました。活動では、制作や入浴、スヌーズレンなどさまざまな活動を経験することができました。『ワーカウト羽黒』では、ボクササイズやヨガ、ストレッチなどの体を動かす活動をたくさん経験することができました。余暇活動では風船バレーを楽しみにしていて、年齢の近い利用者の方と仲良く活動することができました。支援者の方には、自分の気持ちをしっかりと伝えることができました。他の利用者の方とは、なかなか話すことができませんでしたが、「少しずつ慣れていき、話ができるようになると良いですね」とお話をいただきました。

障害者福祉サービス事業所『みどりの家』と、ぎんが福祉会『おひさま』に５日間ずつ行ってきました。どちらの事業所も４度目の実習ということもあり、利用者さん職員さんに会えることを楽しみにしていました。クッキー作業の型抜きでは、自分の担当する生地にできるだけたくさん型を抜くことができるよう工夫することができました。また、自分の身体がつらいと感じた時に、職員さんに横になりたいことを自分から伝えられたことが自信になったようです。今回の実習では、年の近い利用者さんたちとアイドルやドラマの話をして盛り上がるなど、これまでにできなかった経験もすることができました。

『みどりの家』と『ＷａｉＷａｉ』に５日ずつ実習に行きました。どちらの事業所も以前実習をしたことがあったので、あまり緊張することなく、落ち着いて活動に取り組むことができました。『みどりの家』では、ペットボトルのラベルはがしに取り組みました。職員さんと一緒に、とても真剣な表情で取り組むことができました。余暇活動の足湯では、手足を動かして、楽しいという気持ちを伝えていました。『ＷａｉＷａｉ』では、ダイソーとザ・ビッグに買い物に行きました。職員さんからの「どっちがいい？」という言葉かけに対して、手を動かして自分の気持ちを伝えることができました。「意思表示をする」という目標も達成することができ、充実した実習となりました。

『おひさま』と『ひびき』に２日間ずつ実習に行きました。『おひさま』は今回で３回目の実習だったため、初日からリラックスした表情で活動に参加することができました。カラオケでは、聞き馴染みのある曲を聴いて笑顔になったり、利用者の方のボリュームのある歌声に驚いたりしていました。『ひびき』は初めての実習だったこともあり、初日は緊張した表情でしたが、環境に徐々に慣れて笑顔が見られるようになりました。リアル野球盤ゲームでは、職員の方と一緒にバッドを持ち、ボールを転がすことができました。ゲームの勝敗が気になるゆうりさん。勝利の行方は……みごとに勝利！ ほっとした表情のゆうりさんでした。充実の現場実習となりました。

『みだい寮』で実習をさせていただきました。２度目の実習になり、前回よりも環境に慣れ、笑顔が沢山見られました。前回一緒に作業を行った利用者さんが部屋を貸してくだり、リラックスすることができ入所の雰囲気を感じることができました。今回は、多目的室にも入ることができ、前回よりも多くの利用者さんと関わることができました。ナゲットソースのフィルムはがしは、とても集中して取り組めました。みだい寮のスタッフの方や利用者さんが話しかけてくださりとても嬉しかったようです。

『あけぼの医療福祉センター生活介護チェンバロ』で２日間、『甲府病院通所支援事業所　ひだまり』で３日間の実習をさせていただきました。どちらもはじめは緊張している様子でしたが、温かい雰囲気で迎えてくださったので美空さんもすぐにリラックスすることができ、笑顔がたくさん見られました。『チェンバロ』では、ビンゴゲームや散策に参加させてもらいました。『ひだまり』では、エアトランポリンや創作活動、音楽活動やゲーム等に参加させてもらいました。スタッフの方や利用者の方と声をたくさん出してお話をしたり、手をたくさん動かして活動に参加したりと、とても意欲的に取り組むことができました。美空さんらしさを充分に発揮できた実習でした。

『おひさま』では、レクレーション活動とクッキー作り、『あさひワークホーム』ではソース類のフィルム剥がし作業、『スマイルファクトリー』ではクッキー作業等を行いました。昨年度の課題だった、「あいさつ、コミュニケーション」の部分を初日から意識して取り組み、利用者さんに自分から話しかけたり、質問をしたりして、それぞれの実習先で、コミュニケーションに対しよい評価をいただきました。特に、『あさひワークホーム』でのソース類のフィルム剥がし作業時は、昨年度Ｉ期校内実習で行った作業でしたが、実習先で利用者さんからアドバイスをいただきながら意欲的に取り組むことで、昨年度より姿勢や作業効率の面で大きな成長が感じられました。次の実習に向け意欲も増しています。

『南アルプス市役所』では、観光課でパンフレット封入作業と、市民活動支援課での自治会連合会書面決済返信作業、共済書類の仕分け、あけぼの卒業生の職員さんとの情報交換や、市内視察などをさせていただきました。難しい地名の判断に迷ったり、間違いなく入力したりすることは大変でしたが、卒業生の職員さんから、市役所の職員として働くことがどういうことかを聞けて勉強になりました。『ＫＥＩＰＥ甲府』では、ＰＣでお店のブログに追加の情報を記載するブログ代行という業務や軽作業を行い、特にブログ代行では、全く馴染みのない業種の文章を書く経験ができました。自分で駐車場からエレベーターで２階まで行き通勤したことも自信になりました。どちらの実習場所でも、関係者の方々との出逢いが嬉しく、コミュニケーションをとることの意義を強く感じた実習でした。

『スマイルファクトリー』では、フルーツキャップやスポンジ作業、ラスクやクッキーの粉計量作業を行いました。依頼や工夫をして、どうすれば作業しやすいか考えて取り組みました。『メディアブレイン物流センター』では、ＰＣでの伝票入力作業を行いました。実際に使用される伝票なので、間違いが許されないところに責任感を感じ、確認することの大切さを実感しました。また、質問や依頼等コミュニケーションをとることも頑張って行い、「笑顔がいいね！」と、実習先の方に言われていました。社会に出て、不安な中でも自分の良さを発揮することの大切さも分かった実習でした。

『綜合キャリアトラストＳＡＫＵＲＡ』では、間仕切りの組み立て、封筒作業、三つ折り作業、ＰＣやコミュニケーション研修、ＳＣＲＡＴＣＨ学習、電話実践を行いました。まとめの会で、手助けをしてくれた周りの人に対しては、自分にしか出来ないことで返していこうとアドバイスを頂きました。『メディアブレイン本社』では、ＰＣ研修として、ブラインドタッチでのタイピング、ＨＰ作成作業（模擬）等を行いました。ＰＣの操作や機能について専門的な内容を学ぶことができました。社会に出た時のイメージをもつことができた実習でした。

ぎんが福祉会『おひさま』と生活介護事業所『ひびき』に２日間ずつ行ってきました。『おひさま』では、クッキー作り、自治会、掃除を２０名ほどの利用者さんと一緒に体験しました。本校の卒業生がいたためそばへ行ってコミュニケーションをとることができました。『ひびき』では、午前中に理学・作業療法を受け、午後はバナナジュース作りや創作活動を職員の方と息を合わせて行いました。初めての場所でも顔見知りの方がいる場所でも、約束や目標を意識して現場実習ができました。

『ひびき』と『みどりの家』に５日間ずつ、計１０日間現場実習に行きました。『ひびき』では、前年度のⅡ期現場実習で３日間行った経験があり、期待感をもって参加していました。キッチンペーパーで紫陽花作りやイントロクイズ等に意欲的に取り組みことができました。『みどりの家』では、初めての現場実習先ですが、落ち着いてミュージックケアやフォトフレーム作り等をしていました。各現場実習先ともに初日は緊張していたようでしたが、施設職員との丁寧なやり取りを積み重ねることで、少しずつ落ち着いて日課に沿って各活動に取り組むことができました。

生活介護事業所『ＷａｉＷａｉ』と生活介護事業所『ひびき』に５日間ずつ実習に行きました。どちらも前回の実習でもお世話になった事業所なので、緊張することなく落ち着いて過ごすことができました。活動はレクビリテーション（レクリエーション＋リハビリテーション）や買い物、調理実習、封筒へのシール貼り、作品作り等を行いました。積極的に参加し、最後まで自分でやり遂げようとする気持ちが伝わってきました。自分で立てた目標は「利用者さんと話す」でした。意識していると感じられる場面が多く、話しかけられて答えるだけでなく、自分から話かける場面も見られました。また、普段から学校で意識している依頼、正しい言葉遣いもきちんとすることができました。とても充実した実習になりました。

韮崎市の『ＷａｉＷａｉ』と、中央市の『おひさま』へ３日間ずつ実習でお世話になりました。前回もお世話になった事業所でしたが、今回は入浴サービスも利用させていただきました。ペットボトル剥がしや、クッキーづくりの作業には真剣に取り組み、数字を使ったゲームや、音楽活動等にも意欲的に参加する事ができました。また、挨拶や敬語で職員さんと話すことや、利用者さんともお話しする機会もあり、目標を意識しながら、充実した現場実習ができました。

生活介護事業所『WaiWai』に実習に行きました。ウォーキングやハンドメイドに取り組み、どちらの活動も楽しく参加することができました。２度目の実習ということもあり、事業所の雰囲気やスタッフさんにも慣れ、落ち着いて過ごすことができました。

校内実習の様子

第Ⅰ期現場実習の期間中、学校に残った生徒は校内実習に取り組みました。毎年、北杜市にある「友の丘」様よりお貸しいただいているソース類のフィルム剥がし作業を行いました。作業用の帽子をかぶり、みんな集中して指先を上手に使ってシールをはがしました。いつもとは違う雰囲気を感じ、頑張っている様子が見られました。第Ⅱ期では、１年生も校外での実習をすることになります。今回の経験が少しでも役に立ち、円滑な実習ができるように願っています。